

庄内の幕末維新史の新たな展開

『菅実秀 関係史料』

菅実秀 関係史料

鶴岡市郷土資料館史料集 1

鶴岡市郷土資料館

金有ら之候等御座候、何ハ大々宛も此炎天ニ被照色合ハ見へ不申、香味粉之候容子、追々動き之期も近く相成り不申や奉存候。

一、今般、主上鹿兒島御巡幸中、大隅公より建言互写、別入御覽候。右之外も色々申上度御座候得共、指懸り委細相認兼候間、余事ハ野父之便り、尚又申上上。先取急ぎ之要用而巳相略し申候。未夕残存懸敷有之、殊、山野之御勞事分ク御身御大切ニ御厭被成下候様奉存候。先少早々用而巳、如是御座候。以上。

七月二十日

善太右門様

勝弥拜

尚々、乍来申上候。過日誠ニ過分之御看を被下置、実ニ御礼難謝尽、内美申セハ御意已来、此方追々規則も相立今日至り候。月々相渡り候外ハ、中々看杯ねだられ候具合も無之、御存知之物好き者故、兎角不自由相成候得共、一切ねだり申聞敷と意地を張り居候候。実ニ御教を得候心地、分ク難有御礼申上候。早速御礼可申上候。兎角宿難候。書奉、且是得ハ、爾後尽之御座候。御座候得共、明日野父立出付、先便認落之用事度、重奉、拜呈候余左之如し。

一、殿様御洋行之儀付、西郷先被申聞候。大略略既申上候容なれ共、其節上御申上候通、彼之口上は最前頭御進め申上候口氣。餘之違有之、何分人伝ハ、容子之処難斗候間、尚私共度、玄三郎杯も同様之考御座候間、其後も度々参候得共、不伏台ニ未夕逢来居候間、此度面会之上、委細之処猶申上候様仕度奉存候。左様御高可被成下候。上上。餘程御氣込被遊居候御事故、甚分御都合なく思召被遊御容子、乍御尤、其動御氣込被遊候申。先生達御進め申上候種々有之諸事御託し被遊候上へ、どふても先生達之所存、御任不レ被遊ハ相成らぬ事故、其為已後どふ申御心配ハ、決有御座候間敷と奉存候。御安慮可被成下候。

一、吉太郎事ハ御存知之通、意地強き男、此節指て之御用無之候得共、此節中不レ厭、処々能く参候事、実ニ感心御座候。伊集院殿、篠原殿、眞々相託し置、右側人々、

延引仕、和殿も御同様、何共御申取無御座候。次第、不、悪御用指奉願上候。間も無之、野父之便り、和殿も御礼可申候間、其内作、覚、御助けを得候と宣御御合イ被成下度奉願上候。

一、野父事、実ニ不存寄、今日之義相成り、私おびても実ニ難有、私事、近來過分之御扱を得居候義故、野父十分難有存居候。其上今日之事、相成可申様も無之、私ハ仕合もの難有奉存居候。同苗も教導も方申ものを兼補相成候。色々面倒ナル事之御沙汰向、漸々今、御職出候趣付、廿七八日頃立出致し度見込之趣申聞候。何分近來年々重候得、別ニ波ハ、相成候間、諸事尊慮を可奉願候様、申候候間、宣敷御指被成下度奉願上候。福原之上、是非開拓懸レ申遣居候間、当御引廻可被成下候。余ハ後首可申上候。已上。

116

53 大泉勝弥 ↓ 菅善太右衛門

爾後ニ機嫌能可被為入、萬々奉拜賀候。扱廿二三日出

ひい氣兵衛候。勿論尋立不申候人候得共、薩州向、別ニ宣敷至様御座候。乍去多ク之入廻り居候共、誰しも一同深く懸意相成候。申事ハ容易ならぬ事故、誰か恣人主人致し、餘暇を以、廣く奔走致し候事、無之ハ、役用兵衛候共、彼十分引受不申候。又平生主人之修行、薄く可相成、西郷先生ハ何分話置、其義不能、依弟西郷殿、托し度存居申候。中君御帰後、又御往、事共とて、兵部之方ハ手薄ならぬ。斗被寄、勿論弟西郷殿も急度申し可然人、事存居候間、勇右之事、致し度奉存居候。

117

(本文見本)

(本書の特徴)

- ◆菅に宛てられた書状が中心に60点(127頁)の史料が所収されています。
- ◆小栗忠順・西郷隆盛・黒田清隆など、当時の国のかじ取りを担った人物が多数登場します。
- ◆庄内藩士の目を通した、幕府・明治政府の動きが見えてきます。
- ◆妻よしへとやり取りした書状も17点ほど収録しています。

定価1500円(税込み1650円)で販売しています。なお、郵送で購入希望される方は別途送料がかかります。

(問い合わせ先)

鶴岡市郷土資料館

TEL 0235-25-5014 FAX 25-2526

Email library@city.tsuruoka.yamagata.jp